

# 経済分野 第1章 現代の経済社会

## 1. 経済主体と経済活動の意義

### 【人間と経済活動】

※そもそも \_\_\_\_\_ とは？  
\_\_\_\_\_ (もの) や \_\_\_\_\_ の生産・流通・消費といった活動のこと

### 【経済主体と経済循環】

◆ 3つの \_\_\_\_\_

- ①. \_\_\_\_\_ ……企業に対し生産要素（労働力・土地・資本）を提供して、賃金・地代・利子といった所得を受け取り、消費活動にあてる。
- ②. \_\_\_\_\_ ……家計から生産要素の提供を受け、財・サービスを生産・販売し、\_\_\_\_\_（利益）を得る。
- ③. \_\_\_\_\_ ……家計・企業から、\_\_\_\_\_・公債の形で資金を調達し、治安維持・外交など固有の仕事や、一国の経済全体の調整を行う。（地方公共団体も含む）

### 【経済活動の意義】

財・サービスの生産のための資源は**有限**である。  
有限な資源をいかに有効に**配分**して生産し、いかに適正に流通・消費するかしかし、**効率性**と**公平性**は対立することもある。

→現在の**経済システム**の主流である**資本主義経済**にも問題は多い。

## 2. 経済社会の変容

### 【\_\_\_\_\_の成立と変容】

18世紀後半、イギリスで始まった\_\_\_\_\_を機に確立した経済のしくみ

- 特徴
- ①. 利潤追求の自由  
経済活動が市場における自由競争を基礎に営まれる
  - ②. \_\_\_\_\_の私有化  
↳ 生産活動に必要な土地・建物・設備など
  - ③. 労働力の商品化  
生産手段を持たない者が、労働力を売って賃金を得る  
「資本家 vs 賃金労働者」という人間関係の出現

◎ \_\_\_\_\_ (英、1723-90) ……著書『\_\_\_\_\_』

・自由な経済活動が、“神の\_\_\_\_\_ (Invisible Hand)”の働きにより、  
社会全体の調和・発展をもたらす

・経済活動にできるだけ干渉しない \_\_\_\_\_ 政策 = \_\_\_\_\_  
= そのような政府・国家 = \_\_\_\_\_ 政府 (夜警国家)

※. **しかし**、19世紀後半以降、資本主義経済の発展にともなう弊害があらわれる。

- ①. 自由競争→**貧富の格差拡大**
- ②. 周期的な景気変動→**不景気・恐慌**の際には多くの**失業者**
- ③. 少数の大企業による**独占 (寡占)**の弊害

その結果、

A. 労働運動、**社会主義**思想が広まる (後述)

B. 資本主義経済を維持する国でも \_\_\_\_\_ 的な政策がとられる  
社会的弱者を救済する**社会保障政策**、**独占を禁止する法整備** など  
→ \_\_\_\_\_ **政府 (福祉国家)** へ

◎ \_\_\_\_\_ (英、1883-1946) ……著書『雇用・利子および貨幣の一般理論』

\_\_\_\_\_の原理……貨幣支出をとまなう (= 購買力のある) 需要のこと  
国全体の生産量・雇用量は有効需要量によって決まる。

しかし、自由放任主義のもとでは、有効需要量が  
**完全雇用** (労働者全員を雇用できる量) に達しない可能性がある。

よって政策的介入によって雇用の安定を図るべき

= **修正資本主義**の理論化

1929年 \_\_\_\_\_ 勃発

→ 1933年 米大統領 F=ローズヴェルトの \_\_\_\_\_ **政策**

第2次世界大戦後は、多くの国で政府が経済に深く介入する \_\_\_\_\_ 体制に

※. **しかし**、1970年代以降、今度は「大きな政府」の弊害……**財政赤字**

↓

1980年代以降、イギリス（サッチャー政権）、アメリカ（レーガン政権）など

**新自由主義**……「小さな政府」への回帰

政府事業の民営化、規制緩和などで経済活性化を図る

⇔ 一方、社会保障の縮小による格差拡大

【 \_\_\_\_\_ の形成と変容】

◎ \_\_\_\_\_ (ドイツ、1818-83) ……著書『 \_\_\_\_\_ 』(資本主義の分析)

社会主義経済の理論化

・ **生産手段の共有化** (国有・公有)

・ \_\_\_\_\_ ……自由競争を認めず、国家が経済全体の計画を立てる

↓

1917年 ロシア革命 →社会主義国家「ソヴィエト社会主義共和国連邦」の成立

第2次世界大戦後、東ヨーロッパ諸国がソ連の指導下で社会主義化

中国でも「中華人民共和国」の成立

→半世紀に及ぶ「東西冷戦構造」

西側・資本主義国 vs 東側・社会主義国

↓

中国では、文化大革命の混乱後 1978年以降、市場原理の導入 (**社会主義市場経済**)

1989年 東欧諸国の自由化、「ベルリンの壁」崩壊

1991年 ソヴィエト連邦崩壊

→社会主義国家の失敗

⇕

※しかし、資本主義諸国の抱える問題 (貧富の格差拡大) は解決されないまま、

\_\_\_\_\_ (ヒト・モノ・カネが国境を越えて世界を駆けめぐる) が進展

### 3. 市場のしくみ

#### 【市場のはたらき】

\_\_\_\_\_ (market) ……財・サービス、労働力、資本などを取引する場のこと  
取引は“契約”によって行う → 契約を守る義務が生ずる

#### ※ 契約の自由

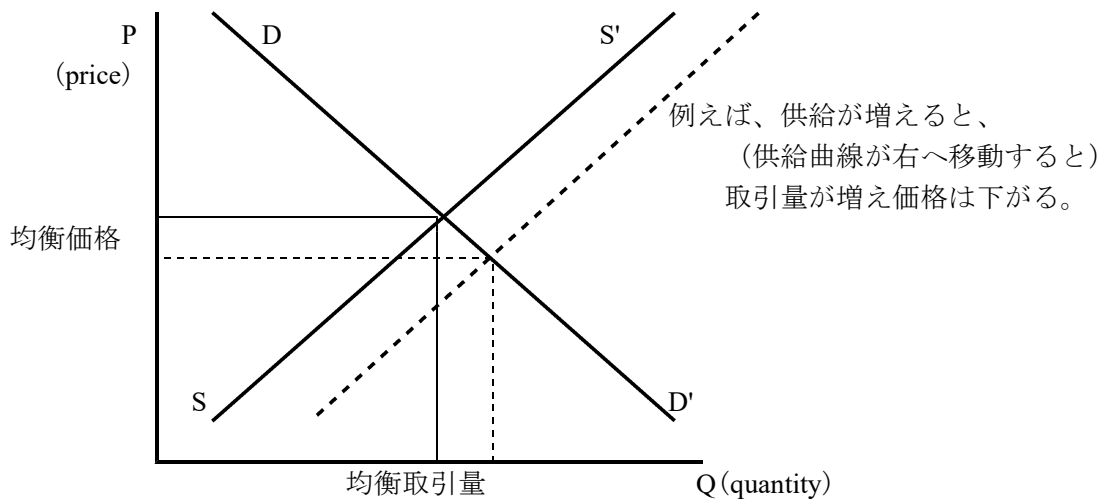
「民法」には直接の規定はないが、契約の前提としている自由権のこと。

- ①締結の自由      ②相手方選択の自由
- ③内容の自由      ④方式の自由

以上4点について当事者同士が平等な立場で自由に決められる。

#### ◆ \_\_\_\_\_ (市場の持つ価格の自動調節作用)

\_\_\_\_\_ (市場価格) ……市場における  
\_\_\_\_\_ (demand、消費者が買いたいと思う量) と  
\_\_\_\_\_ (supply、企業が売りたいと思う量) との関係で決まる



## 4. 市場の失敗

### ▶ \_\_\_\_\_ (Market Failure)

様々な要因により市場メカニズムが有効に機能しないこと

#### 【独占と寡占】

完全競争市場……市場メカニズムが機能する条件

- ・ 売り手も買い手も多数存在し、誰もが価格に対する支配力を持たない。
- ・ 市場への参入、市場からの退出は完全に自由である。

### ▶ \_\_\_\_\_ ……市場に少数の大企業しか存在しない

\_\_\_\_\_ が設定され、価格が下がりにくい (= \_\_\_\_\_ の \_\_\_\_\_)

↑  
最強の企業が**価格先導者** ( \_\_\_\_\_ ) として行動し  
他の企業がこれに追随する、という形で価格が決まり固定化。

価格競争 (値下げ) の代わりに \_\_\_\_\_ という形式になる。  
= 品質・デザイン、販売方法、広告などで差別化を図る

近年では、技術革新 ( \_\_\_\_\_ ) により、  
寡占市場であっても、品質・価格ともに激しい競争も  
※これが、**シュンペーター**が資本主義を高く評価するポイント

#### ※寡占の形態

- ・ \_\_\_\_\_ ……企業間協定 (価格などについて協定を結び、企業同士が競争を避ける)
- ・ \_\_\_\_\_ ……企業合同、すなわち合併
- ・ \_\_\_\_\_ ……異種産業に属する複数企業が、金融・持株方法によって  
事実上の支配従属関係に立つ企業結合形態をとる  
戦前の日本の「**財閥**」(その中心に持株会社が存在)

※日本……1947年 \_\_\_\_\_ 制定、 \_\_\_\_\_ 設置

GHQによる財閥解体 (持株会社禁止)、**価格カルテル**禁止、トラスト制限

#### 【外部性】 ……市場参加者以外の第三者に、何らかの経済的影響を与えてしまう場合

- ・ \_\_\_\_\_ ……工場ができれば \_\_\_\_\_ が発生した、など
  - ・ \_\_\_\_\_ ……駅ができれば、駅前商店街が発達した など
- 「外部経済」はプラスの影響だが、これも「市場の失敗」のうちに入れる

#### 【公共財の供給、所得の不平等】 ……市場では解決できない問題

- ・ 公共財・公共サービス (警察・消防など) は、  
利潤が生み出せないため、民間企業によっては供給されない。
- ・ 競争 (効率性) ⇔ 所得の不平等 (公平性)



## ※株式市場って何だ？ 株の値上がり・値下がりって何だ？

小さな会社は、大部分は家族・近親者だけで株式を所有していることが多い。

しかし、より多額の資金を調達したい（＝会社を大きくしたい）場合は、  
株式を株式市場に公開（上場）して、多くの人に購入してもらうようにする。

業績の良い会社の株式は、多くの配当金が期待できるので人気があり、  
その株式は、高い金額で売買される。

↓

株式市場は、「株価が安い時に購入し、値上がりしたら売って、差額でひと儲けしたい！」  
と考える人たちが活動する場になってくる。

※こういう意図で株を買うのは、「投資」ではなく「投機」という。

## ※「\_\_\_\_\_」について

一般的な大企業の場合、ほとんどの株主は、次のいずれかである。

ア．株価の動向によって売買をくり返し、差額で儲ける**投機**が目的。

イ．株を持ち続ける（安定株主）が、経営参加はせず、配当金だけが目的。

→会社の経営は株主総会で選任された\_\_\_\_\_とよばれる経営者たちによって  
経営される。（代表取締役社長、専務取締役、常務取締役 etc.）

## 【企業の変容、企業の社会的責任】

- ▶ \_\_\_\_\_（複合企業）……経営の多角化を図る（←リスク軽減&利益追求）ため、  
異業種の会社を**合併・買収**（\_\_\_\_\_，Mergers and Acquisitions）
- ▶ \_\_\_\_\_……傘下の会社の株式を保有し事業をコントロールする会社  
独占禁止法で長く禁止されていたが、1997年の法改訂で解禁された。
- ▶ \_\_\_\_\_……複数の国にわたって世界的に活動している営利企業

※．企業の大規模化・複雑化で、経営の実態が見えにくくなることへの対処

・ \_\_\_\_\_  
経営者の行動が株主によって管理・チェックできるように企業運営する。

・ \_\_\_\_\_……経営内容の公開

- ▶ 企業の社会的責任（\_\_\_\_\_，corporate social responsibility）  
企業のすべての利害関係者（\_\_\_\_\_）に対する責任  
↓  
法令遵守（\_\_\_\_\_）の徹底、従業員の待遇改善、  
地域社会への貢献、環境問題への配慮 など